

# 新生JADCA 3カ年計画骨太方針

使命

安全かつ健康的な室内環境の創造

目的

目標



## 具体的施策

2008/12月～2010/3月	2010/4月～2011/3月	2011/4月～2012/3月
<p><b>JADCA スタンドールの確立</b> (ダクト清掃に関する汚染評価基準を確立し、標準仕様、清掃手順、診断方法等をも一括包含)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○空調システム清浄委員会の新展開 関連他団体との連携 (目標: JADCA スタンドール→国の統一基準)</li> <li>○汚染診断士の準備 研修テキスト、資格試験内容の検討</li> <li>○ターゲットの拡充 ・オフィスビル・病院→住宅、食品工場 等 ・個別空調への対応。ダクトだけではなく、空調機も含めて洗浄化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 下記 JADCA 技術評価制度のチェックリスト作成 工法のみならず安全面、環境配慮面も含めたチェックポイントの構築</li> <li>→ 住宅換気ダクトの汚染評価 住宅用ダクト清掃分野への環境整備</li> <li>→ 汚染診断士のビルオーナーへのアピール (眠っていた市場への顕在化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 診断士資格内容のバージョンアップ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○技術評価制度の創設 各社の工法が JADCA スタンドールの基準を満たすか判定 ・事業登録・・・必要条件 ・JADCA 技術評価・・・十分条件</li> <li>○法制化・グローバルスタンダード確立に向けての海外との連携 米国 (NADCA)、中国 (SHADCA) 等との交流</li> <li>○研修・講習の拡充 JADCA セミナー (毎年実施) の内容充実、市民大学等への登壇 等 従事者研修テキストの改訂協議 (ビル管理教育センター、全国ビルメンテナンス協会)</li> <li>○消費者〔住宅居住者〕への啓発活動の強化 協会名変更による当 H.P. の一新</li> <li>○表彰制度「室内空気清浄化大賞」の創設 学会との連携による「IAQ 向上効果が著しい建築物や機器の開発」を表彰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 技術評価制度の試行 建設技術評価制度 (昭和60年建設省告示第1157号) による認定を受けた 4 工法採用会員での試行</li> <li>→ 官公庁物件の入札条件として国等に働きかけ</li> <li>→ テキストの改訂 (予定)</li> </ul>	<p><b>JADCA 技術評価制度の実施</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○JADCA 認定資格制度 (「空調システム汚染診断士」) の創設 第1回資格認定研修 09/11月 (東京)</li> <li>○JADCA 会員証 (シール) の発行 JADCA ロゴシールの発行 (名刺に貼付)</li> <li>○支部活動の強化 地区制→支部制 (支部単位での活動強化)</li> <li>○次代を担う若手の育成 会員企業の若手社員対象講演会・情報交換会 (年1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回認定研修 (東京1回、大阪1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回認定研修 (東京2回、大阪2回)</li> </ul>
<p><b>ゴールド会員証カードの発行</b></p> <p>【発行要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①事業登録 (第3号登録) 番号を有している。</li> <li>②JADCA 技術評価認定番号を有している。</li> <li>③事業所毎に空調システム診断士を配置している。</li> <li>④環境マネジメントシステム (ISO、エコステージ等) に取り組んでいる。</li> </ol>		